

## 海外動向

# 21<sup>st</sup> QMOD (Quality Management and Organizational Development) 2018 への参加及び Best Paper Award 受賞の報告



細川哲夫\*

## 1. 概要

羽田を 11:30 に出発し、ロンドンから鉄道でカーディフ駅に移動、ホテルに到着したときは現地時間で 21 時を過ぎていた。合計で約 18 時間の長旅ではあったが、現地は日本の秋とほぼ同じ気候で過ごしやすく、日本の猛暑から解放されて快適な滞在であった。

本会議は、QMOD-ICQSS Research Society 主催で TQM (総合的品質マネジメント)、サービス、組織開発、およびそれに関連する研究分野における国際会議の一つとして毎年開催され、今回はヨーロッパを中心に 32 カ国からの参加があった。

期間 2018.08.22 ~ 24

場所 イギリス ウェールズ カーディフ大学

参加人数 約 170 名 発表件数 約 140 件 日本から 4 件

参加国と参加人数

スウェーデン: 33 イギリス: 16 韓国: 11 ドイツ: 10 中国, 日本, ハンガリー, ギリシャ: 6 他合計 32 カ国

合計約 140 件の論文発表の中から今回は 5 件の Best Paper Award が選ばれ、その中の一つにわれわれの発表、

“Quality Engineering-based Management

(QEM) :

A Proposal for Achieving Total Optimization of Large System



図 1 カーディフ大学 正門

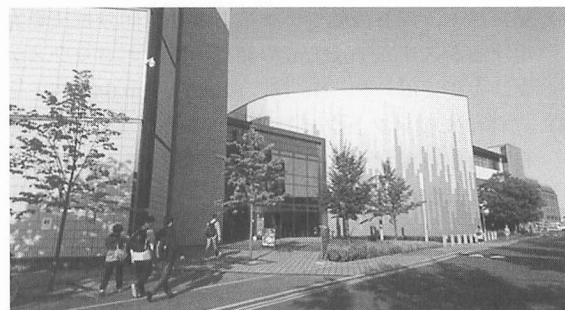


図 2 QMOD 会場

\* (株)リコー